

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 55

2012年7月17日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「静岡大学共同研究希望テーマ説明会」を開催します
2. 「第5回制御系組込みシステムフォーラム」のお知らせ
3. 「第6回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2012」に出展します
4. 「サイエンスカフェ in 浜松」のご案内
5. 「静岡大学 機器分析センター講習会」のご案内
6. 「2012年度 レーザーによるものづくり中核人材育成講座」案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更していただきます。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

1. 「静岡大学第24回共同研究希望テーマ説明会」を開催します

日時 2012年7月27日(金) 13:30~17:05
会場 静岡大学浜松キャンパス 佐鳴会館会議室
主催 静岡大学イノベーション社会連携推進機構

発表テーマ

1. 「太陽エネルギー高効率利用システムの開発」13:35~
工学部電気電子工学科 助教 松尾 廣伸
2. 「大気圧マイクロプラズマの環境応用技術」13:55~
イノベーション社会連携推進機構 准教授 清水 一男
3. 「様々な波長・偏光フィルタ特性を作り込める表面プラズモンアンテナ付きフォトダイオード」14:15~
電子工学研究所 教授 猪川 洋
4. 「クラウドサービスを利用した中小企業の情報化推進アーキテクチャ」14:35~
情報学部情報社会学科 教授 田中 宏和
5. 「大規模データの超高解像度可視化基盤技術」14:55~
情報学部情報科学科 講師 横山 昌平
6. 「非線形制御理論による移動体の制御系設計」15:25~
工学部電気電子工学科 准教授 片山 仁志
7. 「超臨界二酸化炭素を用いるナノ粒子コーティング技術」15:45~
創造科学技術大学院 教授 佐古 猛
8. 「金属の超高サイクル疲労試験装置の開発」16:05~
工学部機械工学科 准教授 島村 佳伸
9. 「企業活動を子どもたちに効果的に伝えるための授業デザイン」16:25~
教育学部学校教育 講師 塩田 真吾
10. 「植物工場は高度環境制御により高生産性・省力化・低コスト化を達成し、野菜の周年・安定供給に貢献する」16:45~
農学部共生バイオサイエンス学科 教授 糠谷 明

参加費 無料
詳細/申込 <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>
問合せ 静岡大学イノベーション社会連携推進機構 研究活用支援部門
TEL 053-478-1413 E-mail tane8p@cjr.shizuoka.ac.jp

2. 「第5回制御系組込みシステムフォーラム」のお知らせ
< <http://architect.inf.shizuoka.ac.jp/event/120801.html> >

静岡大学情報学部組込みシステムアーキテクト研究所では、平成20年度より浜松市と連携して、地域企業の皆様に「組込みシステムアーキテクト養成プログラム」を提供しています。このプログラムは、ソフトウェア工学と制御技術の基本を深く理解し、実践に応用できる技術者、及びソフトウェア、電気／電子、機械の部門を横断的に俯瞰し統合できるシステムアーキテクトを育成することを目的とし、これまでに修了生100名を輩出しました。本フォーラムは、組込みシステム技術の最新の動向と今後への対応に関して情報を共有した上で、「制御系組込みシステムアーキテクト養成プログラム」及び関連する取り組みが地域製造業の高度化を担う皆さまに対してどのようにお役に立っていただけるのかについて、共に考えて頂く機会と致したく開催致します。皆さまお誘い合わせの上、ぜひご来場頂きますようよろしくお願い致します。

日時 2012年8月1日（水）15:00～18:00
会場 プレスタワー17F 静岡新聞ホール（浜松市中区旭町11-1）
主催 浜松市、国立大学法人静岡大学
後援 浜松商工会議所、（株）浜名湖国際頭脳センター

フォーラム内容（スケジュール）

15:00 開会

15:00-15:10 主催者挨拶 浜松市

15:10-16:10 基調講演
「組込みソフトウェアの現実と将来」
キャッツ株式会社 ソフトウェア事業部
グループマネージャー 穴田啓樹 氏

16:10-16:20 休憩

16:20-17:00 講演
「モデルドリブン開発の実践事例」
ビースラッシュ株式会社 代表取締役社長 山田大介 氏

17:00-17:30 講演
「組込みソフトウェア技術者養成のための地域貢献プラン」
国立大学法人静岡大学 学長 伊東幸宏

17:30-18:00 平成25年度からの「組込みソフト技術コンソーシアム」の紹介
組込みシステムアーキテクト研究所 所長 加藤博万

18:00 閉会

※ 交流会（18:30～20:30 銀座ライオンに移動し実施いたします）

参加費 無料（ただし交流会費 4,000円）

問合せ/申込先 〒432-8011 静岡県浜松市中区城北3-5-1
静岡大学情報学部 組込みシステムアーキテクト研究所
TEL : 053-473-9353 FAX : 053-484-4001
E-mail : architect at inf.shizuoka.ac.jp

詳細

<http://architect.inf.shizuoka.ac.jp/event/120801.html>

3. 「第6回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2012」に出展します Think together ～考えよう未来、深めよう絆～

日時 2012年7月24～25日 (24日10:00～17:00、25日10:00～16:00)
会場 アクトシティ浜松 展示イベントホール (浜松市中区中央3-12-1)
主催 浜松商工会議所 浜松信用金庫
共催 遠州信用金庫 はましん経営塾 東海地区しんきん経営者協議会

主旨 「環境」をメインテーマとして、事業意欲旺盛な地元中小企業の皆様へ「出会いの場」を提供し、販路拡大・受注確保など新たなビジネスチャンスの機会創出をバックアップいたします。
また、大学・支援機関の参加による産学連携の強化、ならびに地元企業と地域社会の地域活性化推進を目的として開催します。
今回の出展予定数は、256機関です。

入場料 無料
問合せ先 ビジネスマッチングフェア事務局 TEL 053-450-3315
詳細 <http://www.hamamatsu-bmf.jp>

4. 「サイエンスカフェ in 浜松」のご案内

サイエンスカフェ in 浜松は、静岡大学の浜松キャンパスで行っている月1開催の公開型お茶会です。ホストの研究者が話題を提供し、それを話のタネにして皆で楽しくおしゃべりする会です。

コーヒー、紅茶や簡単なお茶菓子も用意しております。
お誘い合わせの上、みなさまのお越しをお待ちしております。

【第4回】

日時 2012年7月26日 (木) 18:00～20:00
会場 静岡大学高柳記念未来技術創造館 (静岡県浜松市中区城北3-5-1)
テーマ 「光と電子の世界」
若手グローバル研究リーダー育成拠点 小野篤史
若手グローバル研究リーダー育成拠点 伊藤哲

【第5回】

日時 2012年9月27日 (木) 18:00～20:00
会場 静岡大学高柳記念未来技術創造館 (静岡県浜松市中区城北3-5-1)
テーマ 「人間らしい賢い対話システムを創るには？」
情報学部情報科学科 桐山伸也
「音をあやつる」工学部電気電子工学科 立蔵洋介
参加費 無料
申込み 不要 (各回30名ほどの先着順) お車での来場もOKです
詳細 <http://www.nvrc.rie.shizuoka.ac.jp/takayanagi/data/sc2012a.pdf>
問合せ先 静岡大学高柳記念未来技術創造館
TEL 053-478-1402 (10時～16時 月曜休)
E-mail tmh@ipc.shizuoka.ac.jp

5. 「静岡大学 機器分析センター講習会」のご案内 ～XPSの測定原理と材料化学状態評価の方法～

日時 ・講義 2012年7月27日 (金) 10:00～12:00 (予定)
【会場】静岡大学 理学部B棟204 (静岡市駿河区大谷836)

- ・実習 2012年7月27日(金) 13:30~16:00(予定)
【会場】静岡大学 総合研究棟225(静岡市駿河区大谷836)

内容 XPSの測定原理と材料化学状態評価の方法
講師 理学部放射研 奥野健二、大矢恭久 TEL 054-238-4802, 4803
対象 希望者どなたでも
参加費 12,000円(講義、実習のいずれか、又は両方に参加した場合)
定員 【講義】制限無し 【実習】申し込み順で5名程度
詳細 <http://www.shizuoka.ac.jp/~kikibun/>
申込締切 2012年7月24日(火)
申込/問合せ先 静岡大学機器分析センター TEL 054-238-4834
E-mail ukikibun@ipc.shizuoka.ac.jp

6. 「2012年度 レーザーによるものづくり中核人材育成講座」案内
～明日を輝かせる光技術：世界初！レーザー加工技術の総合講座～

日時 2012年8月24日(金)～2012年12月8日(土)
基礎コース：8月24日(金)開講 全6日間
加工技術コース：10月5日(金)開講 全6日間
産業応用コース：11月9日(金)開講 全6日間
会場 講義/基礎コース：サーラシティ浜松(浜松市中区砂山町)
加工技術・産業応用コース：浜松労政会館(浜松市中区東伊場)
実習/浜松工業技術支援センター(浜松市北区新都田)
募集人員 1コースあたり 20名程度
※定員になり次第受付終了とさせていただきます。
※3コース受講いただける方を優先させていただきます。
受講料 3コース受講の場合 ¥180,000(税込)
1コース受講の場合 各コース¥75,000(税込)
※昼食代、交流会費用などは含まれておりません。
※選択受講は可能ですが、3コース全ての受講を基本としています。
※静岡県内の中小企業にご所属の方は受講料の減免があります。
詳細 <http://www.gpi.ac.jp/chukaku/2012entry.html>
問合せ/申込先 光産業創成大学院大学
レーザーによるものづくり中核人材育成事業 事務局
TEL 053-484-2170 FAX 053-487-3012
E-mail info.chukaku[at]gpi.ac.jp

《 みんなのコラム -54- 》

記：工学部システム工学科 教授 浅井秀樹

静岡大学に赴任後、暫くして、浜松地域の何社かの中小企業とお付き合いするようになりました。大学とは独立した形で、1992年3月に産学連携シンポジウムを企画、開催し、新聞にも掲載されました。その当時、大学は学問をする場であって、産学連携は、むしろ否定されていた風潮であったと記憶しています。今では、社会貢献としての産学連携が大学の一つの大きな責務であることを考えると隔世の感があります。
私の研究テーマは、主に高速伝送設計に必要な電気モデリングとシミュレーション技術です。実際に“金物”を作ることが最優先される日本の文化において、アウトローであり続けてきたように思います。そんな中、十数年前に某情報デジタル家電メーカーとの共同研究を実施しました。これからの高性能電子機器設計には、総合的な設計力強化のためにモデリングとシミュレーション技術が不可欠だということでした。

数年かけて我々が開発した三次元電磁界シミュレータは、その後、全社対応となり、実製品に実装されるプリント基板設計に大活躍するに至りました。技術ミーティングが非常に厳しかったことを記憶しています。

1999年～2000年にかけて、北米のベンチャー企業について調査するため、長期出張する機会を得ました。その後、国内の主要半導体企業により設立された研究機関やその他幾つかの有力企業との共同研究を実施しました。さらに、自身でも起業すると共に、国家プロジェクトに参画する機会も持つことができました。そして、現在、外国最大手企業との産学連携を実施するに至っています。

今の日本は、超円高と高い人件コストに苦しんでいます。つい先日、ある投資企業の方から送られてきた書籍が「メイド・イン・ジャパン消滅」と言うもので、日本を取り巻く環境の急激な変化を感じています。“ものづくり”技術は、勿論大切ですが、それと共に商品企画やIP(Intellectual Property)を基礎とした“知的ものづくり”へのパラダイムシフトが求められているように思うこの頃です。

《 編集後記 》

7/27「共同研究希望テーマ説明会」も今回で24回目となりました。皆様にご活用いただくことを第一に、弊学の最新の研究シーズを紹介し、共同研究の可能性をご提案しております。この説明会をきっかけとして技術相談、共同研究に発展した例が数多くございます。参加は無料ですので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - *

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・配信中止のご連絡は、[sangakukoho5\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp) までお願いします。(↑送付の際は[at]を@に変更してください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構
発行責任者：木村雅和
〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1
TEL 053-478-1703
URL <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - *

Copyright(c)2008-2012
Organization for Innovation and Social Collaboration,
Shizuoka University. All rights reserved